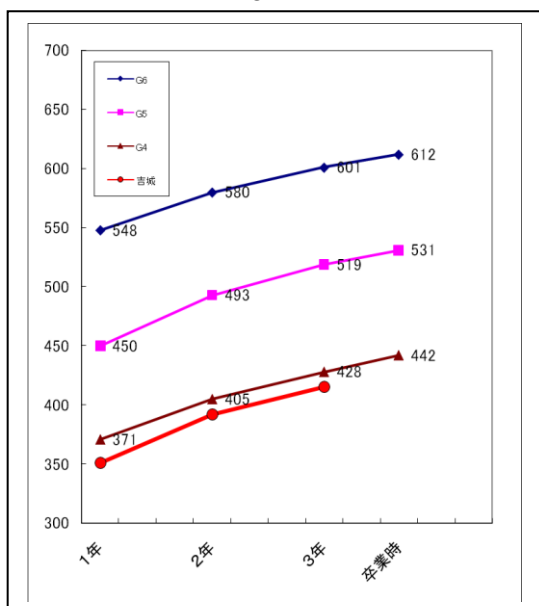


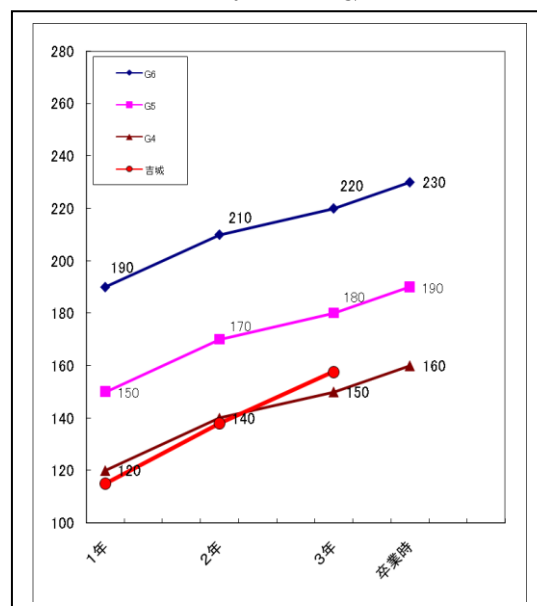
英語力向上アクションプラン「小中高英語指導改革プロジェクト」 研究協力校における取組

高等学校	岐阜県立吉城高等学校
研究期間	平成19年度～平成21年度
研究主題	「実践的コミュニケーション能力を養う英語指導法の研究」
研究方法	GTECを3年間受験することにより、英語運用力の変遷を客観的に把握しながら、アクションリサーチの手法を用いて、効果的な指導内容・指導方法を実践的に研究する。

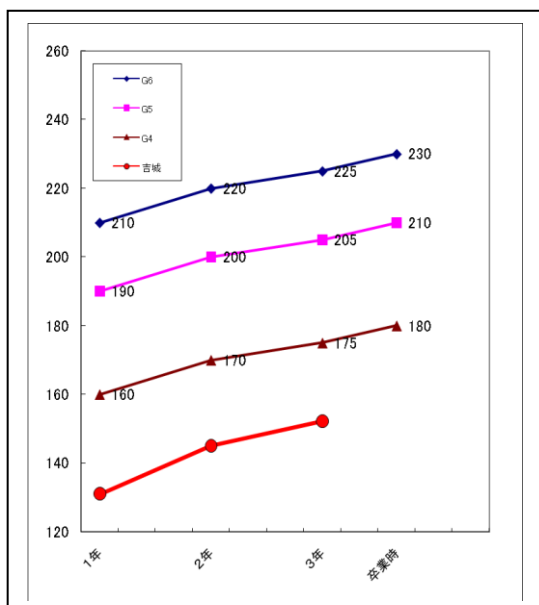
TOTAL



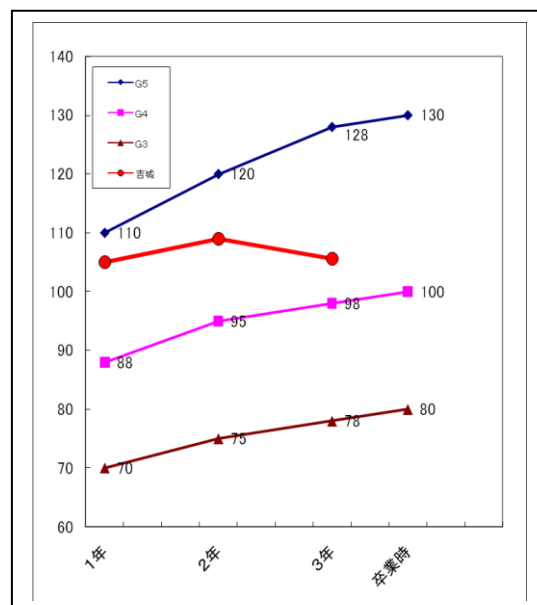
READING



LISTENING



WRITING



1 1年次の取組

(1) 研究テーマ

- ・コミュニケーション活動の中に目標文法を位置付けていくことにより、基本的な文構造の定着を図るとともに、能動的に発信する態度を育てることを目指した具体的な方法を探求する。

(2) 生徒の現状

- ・中学校の既習事項である基本的な文構造を把握していない。
- ・英語に対する苦手意識が強い。
- ・ペア・ワーク等、口頭での活動には積極的に取り組めるが、クラス全体の前で発言することには抵抗を示す。
- ・家庭学習時間が少なく、自主的な学習姿勢が育っていない。
- ・GTECの結果から、Reading/Listeningでは、表面に言葉として表れている事柄を断片的にとらえることができても、話の概要をとらえたり、背景を推測するところまではできていない。
- ・GTECの結果から、Writingでは正確さには欠けるが、課題に沿った内容を展開できる生徒が多いことがわかる。

(3) 研究テーマ設定の理由

高校生の複雑な思考を表現するためには、文法知識や一定量以上の語彙力が必要であるが、本校の生徒は、それらが不足しているために、表現することへの躊躇、英語に対する苦手意識が生じるものと思われる。従来の問題演習形式の文法授業に加え、習得した知識を使う場を保障することにより、幅広い情報交換ができる表現力を付けさせたい。また、オーラル・コミュニケーションの授業では中学レベルの知識を活用することに留まっているので、英語 I・文法授業とのつながりを持たせたい。さらに、文脈の通った話を構成する活動は、GTECの結果からわかった、話の概要・背景をとらえられていないという弱点を補強するのに役立つのではないと思われる。以上のことから、このテーマを設定した。

(4) 研究の内容と実践

ア 仮説テーマ

- ・目標文法を使用する場面を設定することにより、文法をコミュニケーションの道具として習得し、より複雑な表現ができるようになるのではないかと。
- ・計画的に位置付けられたオープン・エンドな課題と習得した文法事項の復習によって、自主的・能動的な学習姿勢が身に付くのではないかと。

イ 実践

年間に実施したプロジェクト/スピーキング・テスト

	プロジェクト	目標文法事項	内容
5月	Interview Celebrities!	疑問文	ペアでダイアログを作り発表。他の生徒は誰がインタビューされているか当てる。
6月	Special Experiences	完了形	ペアでダイアログを作り発表。他の生徒は3つの体験談の中から嘘を当てる。

7 月	Speaking test	完了形	お互いの経験をインタビューする。
10 月	Mysterious Salesperson	助動詞	ペアでダイアログを作り発表。他の生徒は商品を絵に描く。
11 月	Speaking test	助動詞	問題を抱えた友達にアドバイスをする。
12 月	Wall Paper	分詞	ペアで壁新聞を作る。他の生徒は掲示された作品を読み、与えられた質問の答えを探す。
2 月	Play		半数の生徒は日本昔話の劇、半数の生徒はその話に関係する CF をつくりビデオで撮る。

(授業の流れ)

・OC+英語 I (TT)

- (1) まとまった話の中で目標文法を提示
- (2) 目標文法の説明と問題演習
- (3) 場面を設定した 3 文英作文やペア・ワーク等の表現活動
- (4) プロジェクト
- (5) スピーキング・テスト

・英語 I

- (1) 週末課題として、復習ノートを作成し、提出を課す。
- (2) QA やオーラル・サマリーをペア・ワークで行う。
- (3) エッセイ

〈例 1〉助動詞

(1) Listening Comprehension : Mysterious Salesman

(2) 目標文法の解説と問題演習

(3) ゲーム: アドバイス

- 1) クラスの半分の生徒に問題が書かれたカード(I can't find my bicycle. I can't go home. 等)を配り、小さな円を作る。
- 2) 残りの半分の生徒が大きな円を作り、1 の生徒と向かい合う。
- 3) 外の生徒が "What's the matter?" と切り出し、内側の生徒がカードに書かれた問題を打ち明ける。
- 4) 外側の生徒が should / ought to 等を使って助言する。
- 5) 2 分たったらパートナー交替

(4) 3 文英作文とペア・ワーク

(5) プロジェクト: Mysterious Salesman (ダイアログをペアで作って発表)

(6) プロジェクトの発表 (聞く側の生徒は商品の絵を描く)

〈例 2〉分詞

(1) Reading Comprehension : Match Headlines and Articles

(2) 目標文法の解説と問題演習

(3) Headlines 作り

- 1) 短い記事を 5 個配る。

- 2) それぞれの記事に分詞を含む **Headline** をペアで付ける。
 - 3) 発表し良いものをクラスで選ぶ。
- (4) プロジェクト : **Wall Paper**
- (5) プロジェクトの発表
- 1) 提出作品に関わる質問を **ALT** が準備する。
 - 2) 壁新聞を教室の壁に貼る。
 - 3) 壁新聞を読み、ペアで質問の答えを捜す。

ウ 検証

- ・ 仮説 1 について

導入から説明にスムーズに運ぶことができ、生徒は目標文法を無理なくとらえることができた。

- ・ 仮説 2 について

オープン・エンドな課題に対して、楽しみながら、意欲を持って取り組めた。また、クラス全体の前でも発表ができるようになってきた。少しずつではあるが、複雑な構造の文を用いて表現できるようになってきた。

(4) 成果と課題

ア 成果

文脈のない演習問題のテキストを短い話の導入・表現活動と組み合わせることで、文法指導をコミュニケーション活動の中に位置付けることができた。英語 I の授業で、オーラル・サマリーや、短い自由英作文等を課すことにより、読んだ内容をより身近なものに近づけることができたようである。2 年次の 7 月に実施した質問紙の結果を見ると、**Speaking / Writing** の表現活動に対する抵抗感はかなり少なくなり、英語を用いて発信しようとする態度が少しずつ育ってきた。また、まとまった英文を添削することで、生徒の弱点を把握することができた。

イ 課題

表現活動では、モデルをほぼ模したり、教科書の本文をそのまま借りて使い、自分の言葉で言い換えたり、語ったり、というところには至っていない。また、モデルのない場面では、中学校レベルの語彙・英文を使用するに留まり、高校で履修したものを使いこなせておらず、誤用も目立つ。

2 2 年次の取組

(1) 研究テーマ

- ・ プロセス・ライティングを通して、まとまったエッセイを書く力を育てる。

(2) 生徒の現状

- ・ 英語を用いて発信しようとする態度が少しずつ育ってきた。
- ・ 発信することに集中しており、相手に理解してもらおうとするところまでは意識が至っていない。
- ・ 高校で履修する語彙・構文が十分使いこなせていない。

- ・自主的・積極的な学習姿勢が特に家庭学習において欠けている。

(3) 研究テーマ設定の理由

質問紙の結果からは、Writing に関してかなり自信を付けてきているようだが、GTEC の結果では伸びていない。これは、高校レベルの構文や語彙が正しく使いこなせていないことと、論旨を読み手にわかりやすく、秩序立てて書く技術を習得していないからだと思われる。また、積極的に家庭学習に取り組めるような課題を設けることも必要である。適切なサポートや足場を考慮したプロセス・ライティングを行うことで、以上の弱点を克服し、より豊かなコミュニケーション活動を行うことができるのではないかと考えた。

(4) 研究の内容と実践

ア 仮説テーマ

- (1) プロセス・ライティングを継続的に行うことで、明確で論旨が首尾一貫したエッセイが書けるようになるのではないかと。
- (2) 生徒同士でエッセイを読み合う活動を通じて、読み手を意識して書けるようになるのではないかと。
- (3) 目標文法を設定することで、高校で履修した語彙・文法を積極的に使えるようになるのではないかと。
- (4) 間違いを自分で見付けさせたり、自己評価を取り入れることにより、自律した取組ができるようになるのではないかと。

イ 実践

(1) 年間に実施した Monthly Essays

Month	教科書	Monthly essay		
		Topic	Target grammar	Writing skills
4	疑問文 否定	Self reflection		
5	無生物主語 強調 前置詞	Better Products	無生物主語	discourse marker
6	接続詞 話法 (定期考査	Would you help Bones? Better Products)	間接話法	paragraph writing
7	時制 *Speaking test	My hero	完了形	chronological writing
9	態 助動詞 (定期考査	Latest news / Self reflection Latest news)	受動態	how to use information

1 0	不定詞 動名詞	Witness (imaginary news)	知覚動詞	concrete evidence
1 1	分詞 比較	Priorities	比較	topic sentences
1 2	関係詞 *Speaking test (定期考査	*Winter holidays / Christmas present / Movies / Best seasons Witness)		introduction/ conclusion
1	関係詞 否定	Hot spots / recommended food	関係詞	coherence
2	仮定法 否定 句・節 (定期考査	What if? / Self reflection Hot spots)	仮定法	

教科書を使いながら既習文法事項を復習し、毎月その中の一項目を Monthly essay の目標文法に設定した。副次的な技能も段階的に置き、論理的に一貫性のあるエッセイを書くことを目指した。自主的な姿勢を育てるため、自分の学習を検証する Reflective journal (例 1) も年 3 回課した。また、課題は家庭学習とした。

(2) プロセス・ライティングの流れ

1 モデル・エッセイを使った、聴解・読解、文法事項の復習 (例 2)

2 トピックについてのオーラル・ペア・ワーク (例 2)

3 First draft

自己評価用のルーブリクス (例 3) を First draft を書く前に提示

4 First draft 提出

教員は、間違った箇所に印を付けながら添削

5 Common errors

「よく犯す間違い」を示し、グループ活動の中で訂正

6 Peer feedback

生徒は、無作為に配られた他の生徒の First draft を読み、ルーブリクス (例 4) に従って、フィードバック

7 Second draft

教員は、英語と内容の 2 点から評価

(例 1)

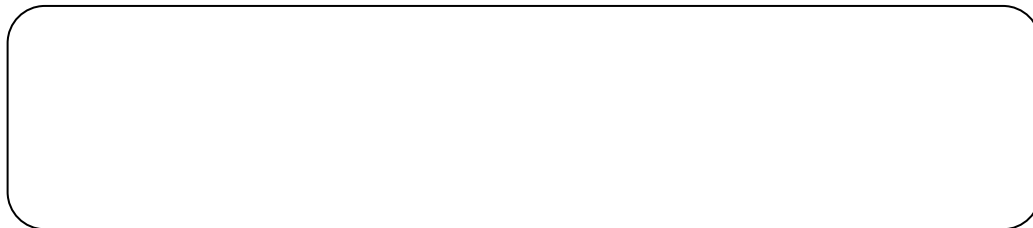
Reflective journal (1)

Reflection on what/ how you learned English last year (English I, Oral Communication, Forest).

(英語 I、オーラル、文法の授業と家庭学習、模試、GTEC、英検など、去年1年の英語学習を振り返って、英語でエッセイを書こう)

Brain Storming: What do you focus on in your essay? (内容の概要)

Focus 1: How did you learn English last year? (どんな勉強をしていたか)



Focus 2 : What could you do? (できたこと、良かったこと)



Focus 3: What couldn't you do? (できなかったこと)



Focus 4: What do you want to do this year? (今年の目標)



(例 2)

Monthly essay for December

Priority: What is the most important in the future?

Listening practice

	Most important	Second most	Least important
Content (内容)			
Reason (理由)			

Dictation

(1) There are more _____.

(2) Considering my future, _____.

(3) Compared with the countryside, _____.

(4) The second _____.

(5) He grew _____.

(6) On my list, health _____.

Imagine your future. What is your ideal life? Among the items below, what is the most important for you? What is the second, and what is the least important? Then, why do you think so?

Put the number following the order of your priority

() Wealth () Career () Hobby () Family (partner)
() Health () Friends () else (e.g., place to live in)

Interview your partner. ()

Put the number following the order of your partner's priority

() Wealth () Career () Hobby () Family (partner)
() Health () Friends () else (e.g., place to live in)

My priority (script)

I have wanted to live in a big city since I was a child. However, life does not go as we expect, and I have always lived in a place surrounded by mountains. (1)There are more wild animals such as monkeys or raccoons than human beings in our area. (2)Considering my future, the most important is definitely the place I will live in. I will live in a big city such as Tokyo or London in ten years.

In a big city, we have many possibilities. (3)Compared with the countryside, we have more chances to see celebrities, say, famous people on the street by chance. It is wonderful to imagine the situation. What will I do if I happen to see Ken Hirai at MacDonald?! I will ask him to shake hands and have a picture taken with him. Wow!!

(4)The second most important thing is friends. When I was a child, my best friend was a baby bear separated from his mother. (5)He grew faster and bigger than I and went back to mountains before I went to junior high school. I wanted to have a human friend, but it takes an hour to go to the nearest house from ours. In the future, I will live in a flat where I can talk with neighbors whenever I want to. I will have a party with them every night.

(6)On my list, health is the least important. I know being healthy is important, but I think I will be all right. My great-grandmother is 100 years old. I have her DNA. I know which wild plants will cure for sickness or injury. I can manage if I get sick.

The order of my priority is; 1. the place to live in, 2.friends, 3. family, 4. hobby (fishing), 5. career, 6. wealth and 7.health. My dream is to become a city girl like those in TV trendy dramas.

(例 3)

Self assessment: Priority					
あてはまるところに✓を入れ、コメントをつけよう。					
	5	4	3	2	1
創造性	斬新なアイデアで独自性が強く感じられる	独自性のあるエッセイである	工夫が足りない	ありふれている	創造性がない
論理性	理由が明確で説得力がある	理由が明確に書けた	理由を書いたが今ひとつ弱い	理由が独りよがりで説得力がない	理由が書けていない
目標文法 : 比較(the most/second/least important)	意識して適切に使い、習得できた	使ったが、習得できているかどうか自信がない		使わなかったが、使い方はだいたいわかった	使わなかったし、使い方もよくわからない
英文・語彙の豊富さ	文例 600 や forest で習った色々な種類の文法・語法が工夫して盛り込んだ	色々な種類の文法・語法が盛り込んだ	同じ種類の文が並び単調だった	短い文が並び、語彙〔単語〕も豊富に使わなかった	文章になっていない
読み手への配慮	読み手にわかりやすくなるよう意識した	読み手に大まかな内容が伝わるよう意識した	読み手のことを考える努力が足りなかった	読み手をあまり意識して書かなかった	読み手を意識しなかった
コメント					

(例 4)

Peer assessment: Priority

あてはまるところに✓を入れ、コメントをつけよう。

	5	4	3	2	1
創造性	斬新なアイデアで独自性が強く感じられる	独自性のあるエッセイである	工夫が足りない	ありふれている	創造性がない
論理性	理由が明確で説得力がある	理由が明確に書けた	理由を書いたが今ひとつ弱い	理由が独りよがりで説得力がない	理由が書けていない
英文・語彙の豊富さ	文例 600 等で習った文法・語法が工夫して盛り込まれている	色々な種類の文法・語法が盛り込まれている	同じ種類の文が並び単調である	短い文が並び、語彙〔単語〕も豊富に使われていない	文章になっていない
読み手への配慮	読み手にわかりやすく書かれている	読み手に大まかな内容が伝わる	読み手にわかりやすく書く努力が不足している	読み手を意識して書かれていない	読むのが困難である
英語の正確さ	英語が正確に書かれている	英語に多少の間違いはあるが意味は伝わる	英語に間違いがあり、そのために理解できない文がある	英語の間違いが多く、理解するのが困難である	英文ができていない

コメント

by (Name) _____

(3) アンケート結果

9 月

	役に立つ/はい	役に立たない/いいえ	どちらともいえない
Monthly essay に目標文法を盛り込むこと	72%	28%	0%
ペア・ワーク	17%	38%	45%
First draft への先生のフィードバック	100%	0%	0%
First draft への友達からのフィードバック	51%	28%	21%
友達のエッセイを読む	71%	24%	5%
Common errors	79%	15%	6%
長い文が書けるようになった	67%	8%	25%
書くことが楽しい	43%	18%	39%

文章によるコメント

- ・ エッセイはやっかいだが、英語力を伸ばすには一番良い手段。（他 5）
- ・ 何回も繰り返し書くと、文法事項がよく覚えられる。（他 6）
- ・ 正確に書けているか自信がない。（他 4）
- ・ 書いていると文法のことを忘れてしまう。（他 3）

- ・ 将来のために役に立つ。
- ・ ペア・ワークでは中学で習ったことしか使えない。

2月

	役に立つ	役に立たない	どちらともいえない
ペア・ワーク	36%	17%	47%
First draft への先生のフィードバック	82%	0%	18%
First draft への友達からのフィードバック	40%	20%	40%
友達のエッセイを読む	66%	3%	31%
Common error	70%	6%	24%
Second draft への書き直し	68%	6%	26%
Second draft への先生のフィードバック	75%	0%	25%
Second draft への先生の評価	64%	0%	36%

文章によるコメント

- ・ 文章を書く力・読む力がついた。（他 7）
- ・ たくさん量が短時間で書けるようになった。（他 7）
- ・ GTEC の結果が上がってきた。（他 4）
- ・ 文法が定着した。（他 3）
- ・ 発想がよくなり、色々な文を思い付けるようになった。（他 2）
- ・ 日常生活の中で出てくる日本語をある程度英語の文章にできるようになり、英語が身近なものに感じられるようになった。（他 1）
- ・ 単語と熟語が覚えられるようになった。（他 1）
- ・ わかりやすい表現を使うようにできるようになった。
- ・ 段落を考えながら書けるようになった。
- ・ わからないままに書いても先生に直してもらえるのでよくわかる。

（ペア・ワーク）

- ・ 何回もやると、自然に言葉が出てくるようになる
- ・ 書くことには役に立たないが、必要だ。

（ピア・フィードバック）

- ・ Second draft への書き直しには役に立たない。
- ・ 他の人の発想に触れるよい機会になる。
- ・ 読み手を意識したわかりやすい表現を心掛けて書こうと思うようになった。
- ・ どのような文法や語句を使っているか知ることができるので機会を増やして欲しい。
- ・ 読む力が付く。
- ・ 構成や使用している文法が参考になった。
- ・ どんなものを書けば良かったかがわかり参考になる。
- ・ 読むのは楽しい。
- ・ いいものが見付かると、自分のにも取り入れようと思った。
- ・ 同じ題材でも色々な意見に触れられるのがいい。

(Second draft への書き直し)

- ・ 間違いに気付いて自分で直すと力が付く。

(教員によるフィードバック)

- ・ 直しのヒントがほしい。
- ・ 内容に関するコメントが Second draft の前に欲しい。
- ・ 評価についての具体的な説明が欲しかった。
- ・ 不足しているところも指摘してほしい。

ウ 検証

- ・ 仮説 1 について

目標の量を抵抗なく書くことはできるようになってきている。細かい段階を踏んだプロセス・ライティングを継続的に行った効果があった。ただし、書き易さは、個人の嗜好によって左右する場合もあり、広く、どの生徒の関心も惹きつけるようなトピックを選ぶ必要がある。

文のつながりや、段落といった、構成面でのスキルを段階的に盛り込むことにより、一貫性のあるエッセイを仕上げることもできるようになってきた。

- ・ 仮説 2 について

他の生徒の作品を読むことを楽しんでいる生徒が多い中、Peer feedback は書くために役に立たないと感じる生徒が多い。それは、Second draft へ書き直すための有意義なアドバイスがほとんどなされていないからだと思われる。フィードバックの出し方の指導を工夫すべきだった。しかし、評価項目の中に「読み手への配慮」が含まれていたこともあり、段落構成や、読み手への質問を加えるなど、読み手を意識する工夫が、後に行くほど見られるようになってきている。読む側に立つことも、その態度を育てるのに役に立ったようだ。

- ・ 仮説 3 について

目標文法を設定したことで、意図的に使用し、定着させようという姿勢が見られた。自己評価の項目にも、「教科書や補助教材で使った表現を使う」ことを盛り込んだため、既習事項を積極的に使おうとする生徒が増えてきた。自動的に出てくる英文の種類がまだ限られている段階の学習者には、目標となる文法事項を意識的に使う場を設けると、表現の幅が広がることがわかった。

- ・ 仮説 4 について

Reflective journal は、評価の対象にもなるせいか、生徒が積極的に自己を評価する姿勢が反映されていた。また、授業以外での生徒の学習姿勢を知るのにも役立つ。

Monthly essay の Self assessment のコメントには個人差があるものの、徐々に、積極的に振り返り、次の課題を探究する生徒が増えてきた。ただしまだ、コメントが単なる感想に終わっていたり、何も書いていない生徒もあったので、自己評価の効果、そのやり方などの指導を全体にすべきだった。

アンケートの結果を見ると、文章によるコメントが増え、「書く力が付いた」「速度が上がった」「量が書けるようになった」という肯定的なコメントや、より意義のあるステップにするための建設的な批判が多い。より良いエッセイを書くためのスキルを付ける自分なりの方法を見付

けようしている生徒が増えてきたことがわかる。

(5) 成果と課題

ア 成果

生徒が目に見える形で英語を書く力を付けてきた、ということが大きな成果である。

教師に加え、他の生徒・生徒自身からの多面的なフィードバックを行ったことで、より有機的なコミュニケーション活動ができた。また、自分の作品を批判的に見、書き直しをすることによって、既習事項を定着させたり、自律した学習姿勢の基盤が築けたのではないかと思う。

以下、一人の生徒の作品（4月、10月、2月、2年7月 / 3年7月 GTEC）を本人の了解を得て掲載した。

（4月：Better Products）

Better products
If I am asked whether "which is ^{better} ~~good~~ electron dictionary or paper dictionary?" I answer that "electron dictionary is better than paper dictionary."
Electron dictionary is very expensive.
But, it enable ~~to~~ carry ~~easy~~. And it can search an unclear word quickly. Moreover, it enable ~~to~~ know the unclear word's kanji.
On the other hand, paper dictionary is very bulky. And, I close it, I must search again.
Moreover, it may be torn.
Electron dictionary excel ~~various~~ ways.
So I think that electron dictionary ~~is~~ better than paper dictionary.
These ~~is~~ my opinions

Monthly essay in October (imaginary news)
I'll introduce imagination thing.
It's imagination creature.
The name is yeti.
Few people know about that creature.
And, yeti is given a lot of mysteries.
The creature have been examined now.

Eighteen people take part in the research. Every people graduated celebrated school. What they have "already understood things is " They live in the Himalayas. The whole body is covered with hair, and they can vertical walk. And, one researcher saw him walk.

The creature have been researched for one hundred about yeti in Himalaya after that. And, they discovered next thing. Yeti's footprint is like a fox. And, they can jump three hundred meters, because there are three hundreds next foot mark. And, their excrement is like a brown bear's and antelope

But, yeti have given a lot of mysteries yet. And, research workers have not captured yeti. So, eighteen research workers will research from now on. I think that yeti will be captured someday. And, I want to play with yeti a that time. I will play for good luck of researchers.

well done!

Self assessment: Witness あてはまるところに✓を入れ、コメントをつけよう。

	5	4	3	2	1
話の創造性	斬新なアイデア アイデアで独自性 が強く感じら れる。	独自性のあ る話である。	どこかで聞いた 話である。	既成作品とよ く似ている	既成作品の ままであ る。
話の具体的 イメージ	描写が細かく 具体的でイメ ージが浮かんで くる。	描写が具体 的である。 ✓	具体的な描写 は少しはある が具体的なイ メージがつか みにくい。	具体的な描写 が少ない。 ✓	具体的な描 写がない。
目 文 法 ①: 知覚動 詞+不定詞 活用	意識して適切 に使い、習得で きた。	使ったが習 得できてい るかどうか 自信がない。		使わなかった が、使いたいわかつ た。	使わなかつ たし、使いた いかわからな い。
英文・語彙 の豊富さ	文例 600 や forest で習っ た色々な単語 の文法・語法が 工夫して盛り 込んだ。	色々な単語 の文法・語法 が盛り込ま れた。✓	同じ種類の文 が並びすぎだ った。	短い文が並び、 語彙(単語)も 豊富に使わな かった。	文章になつ ていない。
読み手への 配慮	読み手にわか りやすくなる よう意識した。	読み手に大 きくかながら 書かれているよ う意識した。	読み手のこと を考へる努力 が足りなかつ た。	読み手をあま り意識して書 かなかつた。	読み手を意 識しなかつ た。

コメント
今日は実在する(?)生物である「イエティ」について書きました。
今日の出来はなかなか良かったと思います。また、日に日に
書くスピードが上がっている気がします。
最後に、和英辞書についてお礼を述べさせていただきます。

What if?

If I had been told "I give you whatever you like" by a little money now. And, I have a lot of what I want to do. And, I want to do these things for one billion yen. I'll explain what I want to do and how to use one billion yen, and so on from now on.

First, I have a lot of what I wanted. For example, clothes, CD, shoes and so on. But, I have no money to buy these. So, if I had gotten one billion yen, I would buy these. My family have a lot of what they wanted. But, I have not given them presents yet. So, if I had gotten one billion yen, I would give many presents to my family.

But, I have a what I want to do more than these things. The poor account for 75 percent of the world people. And these people can't have hobby, and they continue to work now to earn money. So, I want to help them, and And, I want to have them have hobby, and get rid of their stress. If I had gotten one billion yen, I would contribute much money to them.

I have a lot of plans for the others. Although, I have not gotten one billion yen yet. Probably, I won't get one billion yen in future, too. So, I'll work to hard, and I'll save one billion yen. After that, I'll want to do these things.

But, even if I have a little money, I will give presents to my family. For example, father's day, mother's day, and respect for the Aged Day.

Self assessment: What if? あてはまるところに✓を入れ、コメントをつけよう。

	5	4	3	2	1
創造性	斬新なアイデア アで独創性が強 く感じられる。	独創性のある エッセイであ る。✓	工夫が足り ない。	ありふれて いる。	創造性が ない。
説明の 明確さ	描写が細かく具 体的でイメージ が浮かんでく る。	描写が具体的 である。✓	具体的な描 写は少しは あるが具体 的なイメー ジがつかみ にくい。	具体的な描 写が少な い。	具体的な 描写がな い。
目標文 法: 既定法	意識して適切に 使い、習得でき た。	使ったが、習得 できていないか どうか自信が ない。✓		使わなかつ たが、使い 方はだいた いわから ない。	使わなかつ たし、使 い方もよ くわから ない。
英文・ 語彙の 豊富さ	文例 600 や forecast で習った 色々な種類の文 法・語法が工夫 して盛り込ん だ。	色々な種類の 文法・語法が盛 り込んだ。✓	同じ種類の 文が並び 続いた。	短い文が並 び、語彙(単 語)も豊富 に使わなかつ た。	文章にな っていない。
読み手 への配 慮	読み手の気持ち を引くよう工夫 した。	読み手に大ま かな内容が伝 わるよう意識 した。✓	読み手のこ とを考える 努力が足り なかった。	読み手をあ まり意識し て書かなか った。	読み手を 意識しな かった。

コメント
最終的な113の英文法を覚えたばかりで忘れてしまっていて
当時のノートも参考にしようと思いましたが、知って非確認して
おきたいのです。そして、今回はたくさん書けた自然な言い回しが
多かったです。

I have a brother. He is ~~older~~ three years ^{older} than me. So, when I was ^{an} elementary school student, my brother had helped my mother ~~yet~~. I was sad. Because I didn't do anything. So I began to help my mother ^{from} that time. For the reasons ^{standing} ~~standing~~ I usually ^{cleaned} ~~washed~~ the bathroom. After that, I washed my father's car when I was a junior high school student. Then, I was said "Thank you" by my mother. I was very happy. I ^{took a} ~~was~~ decision ^{at} this time. If I ^{will} ~~be~~ high school student, I'll help ^{my} ~~many~~ family ^{with many} ~~things~~ more and more. And, I'll be thanked by my family.

I am ^a high school student now. I help my family ^{with} ~~many~~ things. For example, ^{clean the} ~~wash~~ the room, wash ^a dishes, wash ^{my} father's car, and take care of my ^{grandmother} ~~grand mother~~. ☺

I think that I ^{will} ~~will~~ ^{fascinate} ~~captivate~~ my family ^{so} ~~because~~. I ^{will continue to} ~~help~~ my family ~~to be continue~~ a good effort.

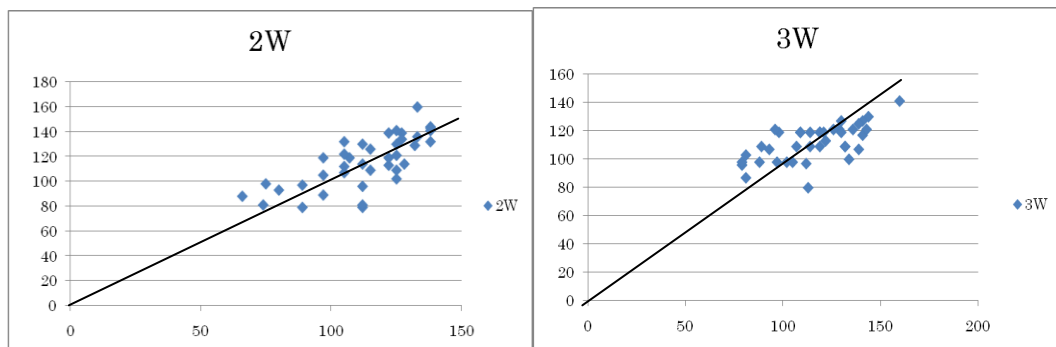
I have belonged ^{to the} track and field club for two years. I'm a third grades high school student. So, I have only ^{one} ~~the~~ year to play ^{in the} ~~club~~. And, the city tournament ^{which} ~~will~~ take place ^{be held on} July 1st. So, I'll be hard to practice ^{it will} ~~hardly~~ until the day, because I have never won ^{the} first prize. I want to win ^{the} prize at the city tournament. After the tournament, I must study very hard, because I want to pass ^{the} college ~~school~~. I have four ^{exams} ~~exams~~ which I want to pass. But, my intelligence ^{level} ~~is~~ ^{small} ~~small~~ for them. And, if I ^{will} ~~will~~ fail in the examination, I would work ^{as soon as} ~~as~~ that. So, I must study hard.

And, I have another thing which I want to do. I will graduate this high school ^{at the} ~~in~~ this year. ^{Some} ~~time~~ it, I ^{cannot} ~~won't~~ meet my friends. So, I want to play many times with my friends until we ~~will~~ graduate ^{from} ~~my~~ school. ☺

I want to do all things. I want to make great high school memories.

この生徒の昨年と今年と作品を比較すると、語数自体には殆ど変化はないが、使用している語の難易度は上がっているように見える。ただし、段落構成があいまいになってきており、課題の主旨をとらえ、的を絞った展開という点ではむしろ弱くなってきている。スコアが若干下がったのは、そのためだと思われる。

—GTEC の結果 (Writing) —



1 年次から 2 年次の変化

2 年次から 3 年次の変化

横軸が前年度、縦軸が該年度の成績である。

grade	score	Jul, 2007	Jul, 2008	Jul, 2009
6	160-	0	1	0
	150-	0	0	0
	140-	0	4	1
5	130-	7	8	1

4	120-	11	4	8
	110-	7	7	10
	100-	5	5	10
3	90-	4	4	7
	80-	3	4	2
2	70-	2	2	0
	60-	1	0	0
AVG		112.5	115.9	111.7
語彙			4.3	4.4
文法			3.9	4.2
構成・展開			4.2	4.5

3年生の7月に行われた GTEC(Writing)の結果では、以下のような傾向が見られた。

- ・語彙・文法・構成・展開、という評価項目では、いずれもわずかずつではあるが上がっている。
- ・グレード2の生徒がいなくなった。
- ・平均点が下がった。
- ・書く量の減った生徒が多い。
- ・上位層の生徒が伸びず、グレード5以上の生徒が減った。

イ 課題

- ・GTECの結果から

他分野、特にリーディングが非常に伸びていること、語彙・文法・構成・展開が評価されているところから、英語の力自体は付けていることが予想されるが、ライティングでは量が減り、平均点が下がった。受験前5ヶ月ほど自由度の高い表現活動をしていなかったことが、書く量が減った原因であるとするれば、やはり一度スキルを身に付けても継続的に活動していないと書けなくなるということになる。また、昨年のエッセイの活動は家庭学習で仕上げるというやり方をしてしたが、決まった時間内に、辞書に頼らず、自分の知識を使って書き上げるというトレーニングも必要である。

- ・インプット不足

日本語をそのまま英語に直したような、不自然な表現が目につくのは、オーセンティックなモデルに十分さらされていないからだと考えられる。今後は、読んだものを書くことにつなげていくような活動が必要である。

- ・フィードバック

正確さを要求するだけではなく、内容面でのアドバイスを工夫する必要がある。

客観的な評価基準を見直す必要がある。特に主観的になりがちな、内容面での評価基準を明確にし、教員の間にも生徒にも、納得できるものにしなければならない。

- ・教師の負担

エッセイの添削は非常に手間がかかる。活動を継続的に行うためには、効率的な添削の仕方を工夫する必要がある。

3 3年次の取組

(1) 研究テーマ

- ・概要をとらえる読み方、基本知識を応用した解釈、英語特有の表現方法を習得するために、多読・精読の指導を工夫する。

(2) 生徒の現状

- ・GTEC のリーディングは伸びたが、大学入試レベルの英文になると、概要を捉える力がまだ不十分である。WPM もまだ少ない。しかし、音読などの声を出す活動には意欲的に取り組む姿勢を保っている。
- ・英作文では、日本語を直訳したような不自然な英文がまだ多い。

(3) 研究テーマ設定の理由

- ・概要を捉えることに困難を示す生徒の多くは、日本語訳に頼った英文解釈の学習をしてきたことが原因の一つであると思われる。精読においても、語彙が不足しているため、また基本的な知識を応用できないために、一文の意味をとらえるのに苦労している生徒も多い。
- ・自然な英文が書けるようになるには、モデルのインプットを増やすような、多読活動が必要である。また、教科書の中の表現を使ってまとめるような活動を取り入れることで、英語特有の表現を習得できるのではないかと考えた。

(4) 研究の内容と実践

1) 多読演習

- ・段落の役割を把握
序論・本論・結論の段落がテキスト全体に果たす役割を考え、述べさせる。
- ・WPM を意識した速読練習
短時間でできる速読トレーニングプリントを、毎時間授業の始めに時間を計って実施。

2) 精読演習

- ・一文の役割を把握
トピック・センテンス、サポート・センテンスを意識させ、段落の中でそれぞれの文が果たす役割を把握させる。
- ・スピードを意識した音読練習
オーバーラッピングやシャドーイングなど、音読の仕方を工夫し、音と音のつながりや英語のリズム、イントネーションを耳だけでなく口を使って覚える。また、音読の速さを意識することで、文章の読解における頭の中での文字の音声化や理解の速度を上げることを狙う。
- ・サイトトランスレーションを意識した長文読解
教科書の読み取りにおいて、スラッシュを入れた本文を提示することにより、意味の固まりや文の構造を整理しながら本文の内容把握をする。一文が長く複雑な文構造の文章を用い、構造や意味の固まりを正しく見分け、的確に意味を掴むことができるようにする。

(5) 成果と課題

ア 成果

多岐に渡る生徒の進路指導と同時進行であったため、就職希望者等を含めた学年全体の傾向をとらえることはできなかったが、進学希望者の模試結果は少しずつ上がっていた。

イ 今後の課題

4 技能を結びつけた総合的な指導が必要である。聞いたことを読んで確認したり、読んだものを使って「話す」「書く」といった発展的読解・英作文の授業を検討する必要がある。生徒が今後自分で英語の学習を自主的に進めていけるような指導も必要だった。

4 3年間の研究のまとめ

知識と運用を有機的に統合することと、受け手の側に立って発信することの2点を重視し、授業を組み立ててきた。うまく流れた活動は、思うように進まなかったものに比べ、圧倒的に少なく、不十分な点、課題は多い。しかし、様々な試みに挑戦できたことは評価できると思う。また、うまくいかなかったものも、少し改良を加えるだけで、生徒の反応が変わってくることもあった。

教員間の協力体制は必須である。一人の教員に考えられること、できることは限られている。議論を通し、お互いの助言や失敗から学ぶことで、より良いものを築き上げることができる。スタッフが異動したら終わってしまうプロジェクトでは意味がない。

試験の波及効果も大きな壁である。プロジェクトやエッセイで要求される表現力は模擬試験で測られることが少なく、そのためにシラバスから削られてしまうことも多いのではないかと。入試で自由英作文等のオープン・エンドな問題を課す大学はまだ少数であるため、かかる手間と点数への影響を考えると、一見割の合わない取組であり、それだけに敬遠されるかもしれない。しかし、そういった活動を通して、少しずつ時間をかけて身に付いた総合力・応用力は、読解や和文英訳のような問題にも無関係ではないと思う。入試に必要な者のみへの個別指導では、十分とはいえないだろう。校内に模試重視の空気があったり、考査の点数が評価基準の中で高い割合を占めるように規定されたりしている場合は、英語科職員の同意だけでは乗り越えられないこともある。学校全体での共通理解も必要であろう。

この研究を通して得た一番の成果は、生徒の能動的な活動を通して、普段見られない姿に触れたことである。作品・発表を通して、個々の生徒とかわりをもつ機会が得られたし、生徒の中にも、自分の学習・評価方法についての主体的・客観的な見方が育ってきたと思う。コミュニケーション能力とは、お互いの内面にあるものを、言語のような媒体を使って、的確に伝え、受け取る力であるということを念頭に置き、今後も表現活動を積極的に取り入れることで、英語を通した生徒理解ができるようになればと思う。